

事業所名

放課後等デイサービス ココアート

## 支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		保護者、学校、地域社会と密に連携して、子ども一人ひとりの「可能性を広げ」「やりたいこと」を見つけ出し「自分の夢」へとつないでいける療育を目指します。私たちは、お子様が「やりたいこと」を見つけ「自分の夢に向かって生きる力」へと変えていっていただきたいとの思いでこの事業に取り組みます。											
支援方針		○遊びながら学ぶ支援・・日々スモールステップを意識しながらお子様の遊びの中から学んでいただけるように支援します。 ○感覚統合療法・・感覚統合療法を取り入れた活動を通し日常の暮らしで感覚の強弱を調節したり、感覚を受け入れる量を調節できるように支援します。 ○季節を大切にされた療育支援・・天気や温度、風や雨、四季の行事を大切にしながら周囲の環境に興味関心を向けられるようにして、時の流れに意識が向けられるように支援します。 ○個別療育・・一人ひとりの課題を本人、保護者や関係機関と話し合いながら、一貫した方向性で本人に負担のない個別療育をします。											
営業時間		月から金 (平日)	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土、祝日 長期休み	9	時	0	分から	18	時	0	分まで			
支 援 内 容													
本人 支援	健康・生活	・日常生活の中で、大人や友達とのコミュニケーション力が育っていくように支援をします。事業所の生活の中から日々本人が抱えている課題に向き合い、持ち物管理、道具や玩具の片付けなど、環境の整備を主体的に行えるように支援します。お子さんの理解しやすい方法を模索しながら タイマーを使って時間の感覚を身に着けたり、絵や文字のスケジュール表などを利用して視覚的に分かりやすく伝えるなど工夫して伝えます。											
	運動・感覚	・着席して活動する静の時間と集団でゲームあそびを楽しむ動の時間を提供します。座学を通して姿勢保持を心がけたり、微細運動のような手先の器用さを育てる活動をします。宿題などを活用して継続的に座学と手先の器用さを育てていきます。動の活動では、体のどの部分を動かしているかなど、関節が円滑に動くようにゲームやダンス、ハードルや平均台を使用して粗大運動から思い通りに自分の体を動かせるように支援します。											
	認知・行動	・集団活動や自由遊びの中から、その場に合った状況判断や適切な行動ができるように支援します。視野を大きくとらえるよう促したり他者の様子に関心を向けるなど視覚、聴覚情報を的確にとらえ今本児がするべき行動が理解できるように支援します。そのために視空間認知トレーニングを取り入れ（物と背景を区別する、色や形を把握する、大きさや色に関係なく同じ形を認識する、物との距離や大きさを把握する）見る力を育てます。											
	言語 コミュニケーション	・挨拶の言葉を発しながらコミュニケーション力を養っていくことを目指します。相手に自分からアプローチする意欲を育てます。一つの行動を共有、共感しながら他者と関わるのが楽しい、嬉しいという感覚を育て、コミュニケーションの基礎を養います。最終的には、承認欲求から奉仕欲へと変わっていく事で円滑な対人関係を構築していけるように支援します。											
	人間関係 社会性	・自分自身の気持ちのコントロールは、自己抑制に影響されます。社会性において 自分の主張が通らない時でも、怒ったり、落ち込んだりせず、相手が拒否しているのだと思い込まず自分の気持ちに折り合いをつけながらやり過ごしていけるようになるなど、世の中の曖昧さに慣れていけるように支援します。自分の気持ちを自分自身が理解できるように 支援者が本人としっかり寄り添って向き合っていきます。											
家族支援		・見学の機会を設け保護者や家族の方の思いをしっかり受け止め それに沿ったご提案や支援が出来るようにします。送迎時にも、日々の様子を伝え安心して預けて頂けるようにします。					移行支援		・必要に応じて、学校のお子さんの様子を見学したり、担任の先生とお子さんの様子や支援方法について、情報共有していきます。				
地域支援・地域連携		・お子さんの通っている他施設や相談事業所など各関係機関との連携もしっかりと行っていきます。					職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加				
主な行事等		・避難訓練（地震、火災、水害、年2回以上）・季節の行事 ・誕生日会											